

令和5年度 第2回 「淡路島観光戦略会議」議事要旨

日時：令和5年10月6日（金） 14:50~15:40

場所：淡路広域消防ビル3階 多目的ホール

出席者：淡路県民局長、洲本市長、南あわじ市長
淡路市長、淡路島観光協会会長

議題（1）令和5年度「アクションプラン」の進捗状況について
議題（2）令和5年度の「重要な取組」の進捗状況について

事務局から資料1及び資料2について一括して説明

①観光コンテンツについて

【構成員】

- ・資料2のP1にあるコンテンツを観光協会HPから販売とは、切符を売るというイメージなのか。

【事務局】

- ・切符を売るのではなく、体験プランを一覧として観光協会のHPにアップしており、直接、プランとして販売している。

【構成員】

- ・かいぼり体験やクリーンアップ活動等に有料で参加するという意味か。

【事務局】

- ・その通りである。いろいろなプランを造成し、観光協会のHPからオンラインで直接予約ができるようにしていきたいが、まだ準備段階である。

【構成員】

- ・できるだけ早くSITプログラム（興味深い、今までなかった体験プログラム）を予約できるようにしていきたい。
今のところトライアルの実験を終えたところで、個人が簡単に予約できる仕組みの構築、もう一つは募集ツアーを設定し、そこにめがけてくるような仕組みを確立していきたい。
来年を目処にしていければと思っている。

②淡路島牛乳を使った観光施策について

【構成員】

- ・淡路島牛乳をテーマにしたグルメ施策が何かできないか。
喫茶店とかで淡路島牛乳を使ったようなカフェオレを販売する
あるとか、観光施策として何か位置づけられないか。

【構成員】

- ・実際に使っている方はたくさんいる。
ただ、淡路島牛乳のブランド化につながっていない。声をかければ、
手は上がると思う。情報としてまとめることができれば十分出来る
と思う。

【構成員】

- ・県民局としても、生産者支援、食のブランドにも取り組んでいるの
で観光協会と協力して何か考えられたらとは思っている。

【構成員】

- ・島スイーツがあるので、協賛、協力をもらって実施していくことは
可能ではないか。

③ガイド育成について

【構成員】

- ・コンテンツの開発とガイド育成は繋がっていると思っていて、万
博までに、淡路全体を案内できるガイドの育成が観光協会として
急務だと思っている。

④明石海峡大橋の通行料金について

【構成員】

- ・明石海峡大橋の通行料金が暫定料金になっていることに対して、
最低でも今の料金を維持してもらおうことに関して、要望を紙で出
した方がいいのではないか。このままでは、元の料金に戻ることに
なるかもしれない。

【構成員】

- ・先日、市長会として東京に要望に行ってきた。
議長会としても行く予定である。
明石海峡大橋の通行料金に焦点をしぼって要望をあげている。

【構成員】

- ・兵庫県から国への要望のなかにも項目として入っている。

⑤関西空港～四国までのアクセスの関係について

【構成員】

- ・淡路島—徳島間だけでなく、関西空港を中心とした大阪から徳島まで繋がるのが大切で、万博を機会に事業者に対して、淡路島便をやってほしいと要望していかなければならない。
洲本港や津名港まで高速艇で来てもらい、そこからバスで徳島駅まで繋いでいく。淡路島だけでなく、四国に旅行に行く人にもバスや高速艇存続のために使ってもらうことが大切である。
あとは、オープンドア化が進めば、大阪や京都に来ている観光客も淡路島に来ていただくこともできるのではないか。

⑥景観の再構築について

【構成員】

- ・現段階では、事務局の意見をまとめただけに過ぎないので、景観園芸学校に提案し、この会議に「どういった景観がふさわしいかの意見」を出してもらうのがいいのではないか。

【構成員】

- ・事務局で意見を預かって検討してもらえたらと思う。

⑦にっぽん丸の寄港について

【構成員】

- ・7月31日に、にっぽん丸に初寄港してもらって、次年度以降も淡路島に寄港してもらおうと要望したが、感触はよくなかった。
見せ方やお金の使い方が、寄港してる地域と全然違う。

【構成員】

- ・他の港はプロモーションにもっとお金をかけているという意味か。

【構成員】

- ・ 取り組み方が違う。もっと迫力のある見せ方が寄港してもらうためには必要だと思った。

【構成員】

- ・ 西海岸にもメガヨットが寄港できる整備ができれば、メガヨットを誘致する動きがある瀬戸内と繋がれてより効果的だと思う。

【構成員】

- ・ 西海岸にメガヨットが寄港できる港が欲しいと言った声は聞いたことがある。それなりの投資が必要だと思う。

【構成員】

- ・ 浮棧橋を付けることができれば解決する。

⑥日本遺産ツアーについて

【構成員】

- ・ これからのことについて何かプランはあるのか

【事務局】

- ・ 沼島に行きたいといった意見があった。
今回は、産経新聞の紙面で参加者を募ったが、クラブツーリズムに拡大展開をしていきたいと考えている。

【構成員】

- ・ そういった意味でも、ガイド育成は急務である。

以上